

(3) 持続可能な利用の推進

1) 自然環境の適正な保全

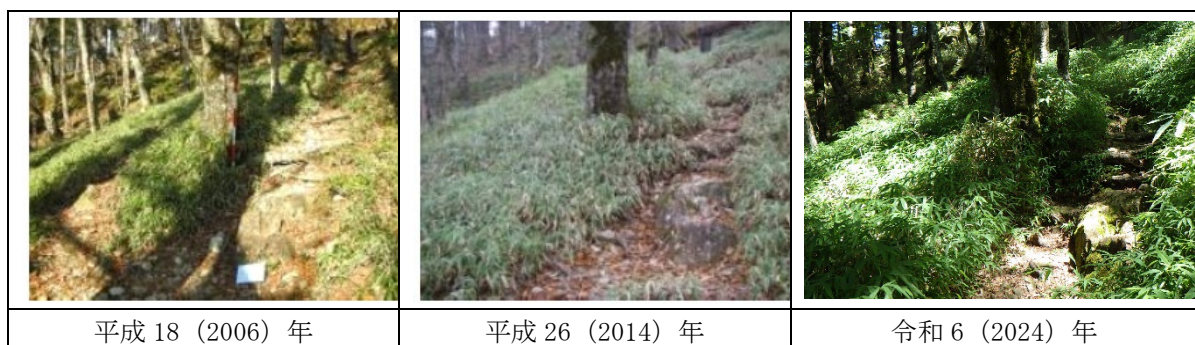
自然環境の適正な保全【概要】

- ・西大台利用調整地区の事前レクチャー、アクティブレングジャー等による環境教育の実施などにより、利用者マナーが向上した。また、ロープや標識テープの設置による歩行範囲の固定化により歩道の複線化が解消されている。これらの取組により、人の利用による自然環境への影響は抑制されている。
- ・西大台での道迷い発生は少ないものの、アンケートの一部には西大台の道が分かりにくいとの声もある。西大台利用調整地区では道標類の整備を必要最小限に抑えることとしているため、レクチャー時等の利用者への周知方法の検討が必要である。

① 人の利用による自然環境の衰退の抑制

●評価

西大台については、歩行範囲を固定したことや、利用調整地区制度が浸透したことにより、歩道外への踏み込みは減少し、人による歩道の複線化や、植生への影響は低減している（写真 4-4-1）。近年、明らかな希少植物の盗採は確認されていないが、巡視員や職員による常時の監視は継続することとする。



◆複線化はほぼ解消し、ミヤコザサは回復傾向である。

写真 4-4-1 西大台の歩道の複線化の状況の変化

■課題

西大台での道迷い発生は少ないものの、アンケートの一部には西大台の道が分かりにくいとの声もある。西大台利用調整地区では道標類の整備を必要最小限に抑えることとしているため、レクチャー時等の利用者への周知方法の検討が必要である。

2) 利用の量の適正化

利用の量の適正化【概要】

- ・大台全体の入山者数は、過去最大の利用者数となった平成 7 年（1995 年）度の 32 万人に比べ 4 分の 1 程度になっており、当時の利用過多の状況からは概ね脱していると考えられる。西大台利用調整地区の年間利用者数は 1,700～2,500 人程度となっており、設定した利用者数の上限に対して概ね 50%以下となっている。これらのことから、利用の量の適正な管理ができていているものと考えられる。

① 利用の量の適正な管理

●評価

大台全体の入山者数は、過去最大の利用者数となった平成 7 年（1995 年）度の 32 万人に比べ 4 分の 1 程度になっており、当時の利用過多の状況からは概ね脱していると考えられる。

西大台利用調整地区では毎年度定める運用計画において展葉時期を考慮した一日の利用者数設定をしており、植生に配慮した調整を行っている。

令和 2 年（2020 年）度から令和 6 年（2024 年）度の 5 年間に於いて、西大台利用調整地区の年間利用者数は 1,700～2,500 人程度で比較的安定して推移しており、また、一日の利用者数上限に達した日は 5 年間で 2 日のみであった（どちらも利用集中期）。上限の 50%を超える日は秋季の利用集中期（9 月中旬～11 月上旬）と初夏の通常期（6 月上旬～7 月下旬）を中心に例年 10 日前後あるが、概ね利用率 50%以下の安定した水準となっている。

路肩駐車台数は令和 2 年（2020 年）度から減少傾向にあり、関係機関の連携した交通整理が一定の効果をあげている。

i) 大台ヶ原の利用者数の推移

平成 10 年度から 25 年間の推移をみると、平成 23 年（2011 年）度までは減少傾向で推移していたが、平成 24 年（2012 年）度から微増に転じ、2014 計画初年度の平成 26 年（2014 年）度には 9 万人となった。その後、令和元年（2019 年）度までは再び減少傾向となったが、新型コロナウイルス感染症による移動制限が行われた令和 2 年（2020 年）度は増加し、以後概ね横ばい傾向となっている。全国の国立公園では新型コロナウイルス感染症による移動制限の影響で大幅に利用者数が減少しているが、近場の訪問に対する需要は高まり、大台ヶ原においては、関西の都心部から日帰り圏内にあることなどから、その影響を受けなかった可能性が考えられる（図 4-4-1）。

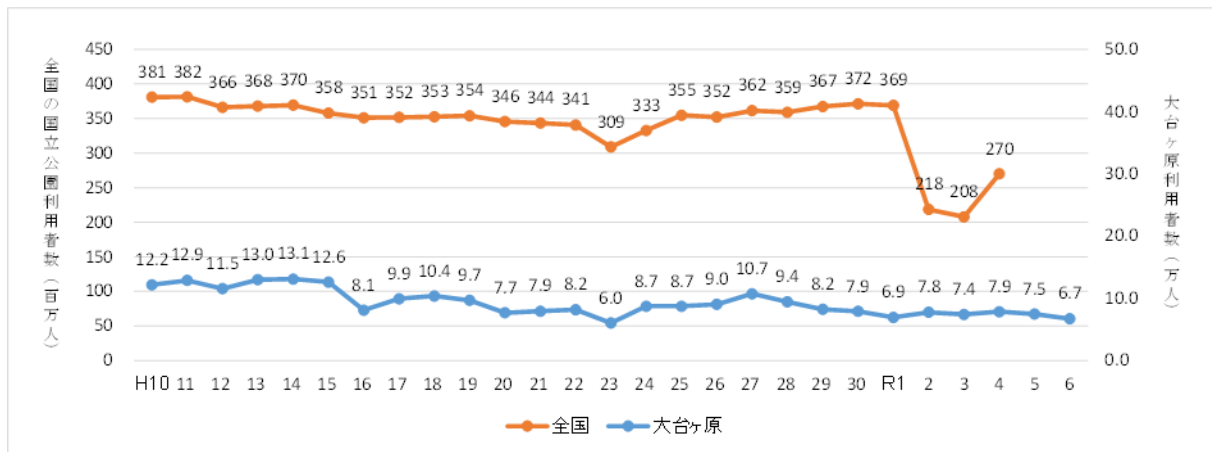


図 4-4-1 全国の国立公園と大台ヶ原の利用者数の推移

※大台ヶ原の利用者数は、正午時点の山上駐車場の駐車台数を基に、以下の推計式で推計したものである。
 大台ヶ原の利用者数＝観光バス台数×22人＋乗用車台数×2.2人×2回転＋二輪車台数×1.1人

ii) 大台ヶ原の利用者数の推移

入山者数は、平成28年度をピークとして近年は減少傾向にある（表4-4-1）。

表 4-4-1 西大台利用調整地区の入山者数の推移

月	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
4	58	96	72	120	182	157	181	0	65	109	88	79
5	591	699	851	639	687	533	500	60	323	414	411	362
6	230	278	216	288	261	169	227	206	167	204	235	201
7	250	230	230	363	268	158	161	210	322	286	321	245
8	340	300	303	400	310	227	180	450	178	258	170	213
9	199	234	368	216	223	169	172	307	187	115	297	144
10	714	711	834	903	632	771	620	875	706	649	618	336
11	315	237	343	314	358	305	412	442	328	230	225	190
合計	2,697	2,785	3,217	3,243	2,921	2,489	2,453	2,550	2,276	2,265	2,365	1,770
認定者数に対する割合 (%)	85.5	86.2	92.0	91.6	88.5	90.4	88.2	93.6	93.0	91.8	89.9	90.5

iii) 路肩駐車の実態状況

紅葉シーズンの休日を中心に、山上駐車場が混雑すると路肩駐車が発生し、交通渋滞の発生や通行上の危険を生じるため、混雑が予想される日に交通誘導員が配置されている。路肩駐車台数は、令和2年（2020）度から徐々に減少傾向にあり、令和6（2024）年度は817台と令和2（2020）年度と比べて半分以上となっている（図4-4-2）。

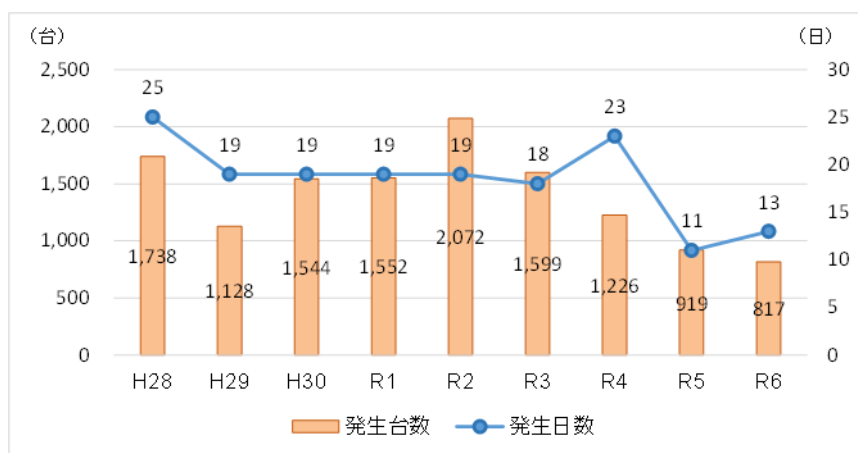


図 4-4-2 路肩駐車の新生日数と発生台数の推移

■課題

利用量のコントロールや混雑緩和の観点から公共交通の利用を推奨しているところだが、今後周辺地域の高齢化・人口減少が進むと公共交通の水準維持も困難となることが予想される。利用の量の適正化については、周辺地域の状況も踏まえ、公共交通以外の方法も含めた対応策の検討が必要である。

3) 利用の質の向上

利用の質の向上【概要】

- ・西大台利用調整地区制定時から議論のあったガイド制度創設について、2014 計画期間内に登録ガイド制度が導入されたことは評価できる。今後の課題として、大台ヶ原の魅力や資源、自然再生に係る各種取組やその成果等を活用した質の高い体験の機会を提供するための体験型プログラムの実施や登録ガイド制度について自律的に機能できるよう、環境省が主導し関係機関との連携により、民間事業者とのツアー運営の仕組みづくりや、利用者への一層の周知等の取組の検討・実施を行うことが必要である。また、登録ガイド制度の成果を評価するため、利用状況・満足度・経済効果などのモニタリングを引き続き実施していく必要がある。
- ・登山道探勝歩道の維持管理は適正に行われているが、一部荒廃や木道の老朽化が進んでいる箇所については、改修が必要である。苔探勝路については、蘚苔類の再生試験を実施しており、一定の効果がみられている。

① 質の高い多様な利用メニューの充実

●評価

西大台利用調整地区制定時から議論のあったガイド制度創設について、2014 計画期間内の平成 29 年（2017 年）度に登録ガイド制度が導入されたことは評価できる。登録ガイド制度の成果を評価するため、利用状況・満足度・経済効果などのモニタリングを引き続き実施していく必要がある（図 4-4-3、4-4-4）。

携帯トイレブースの設置については、西大台では継続的に携帯トイレの販売、ブースの設置、管理、利用がなされているところである。東大台においては、平成 29 年（2017 年）度に携帯トイレブースの設置試行を行った。試行時の利用者アンケート調査では、携帯トイレの利用に対しては前向きであったものの、実際の利用率は低かった。



大台ヶ原登録ガイド制度とは

大台ヶ原登録ガイド制度は、自然ガイドとして一定の要件を満たした方を登録し、ホームページで紹介することで、大台ヶ原を訪れる方々に、安全・安心に、より深く自然を楽しんでいただくことを目的としています。

➤ 登録ガイドになるには

ガイドを利用したい方へ

大台ヶ原登録ガイドは、大台ヶ原の魅力を伝える自然ガイドです。いずれも自然ガイド等の資格を持ち、危急時対応の知識・技術を備えた方です。大台ヶ原登録ガイドと一緒に大台ヶ原を楽しみませんか。

➤ 太田ヶ原巻線ガイド一瞥

ガイド登録を希望する方へ

大台ヶ原の利用に関する協議会では、「大台ヶ原の自然をもっと知りたい。」「初めて行くので見所を案内してもらいたい。」「利用調整地区とはどんなところですか。」「等利用者の多様なニーズに応え、大台ヶ原の魅力を伝えて頂く登録ガイドを募集しています。」

➤ 登録ガイドになるには

図 4-4-3 大台ヶ原登録ガイドHP(令和 5(2023)年リニューアル、上北山村)
(<https://www.vill.kamikitayama.nara.jp/kanko/oodaigaharatourokuguide/index.html>)

目 次

第1章	1
1. 1 目的と範囲	1
2. 1 目的と範囲	2
3. 1 目的と範囲	3
4. 1 目的と範囲	4
5. 1 目的と範囲	5
6. 1 目的と範囲	6
7. 1 目的と範囲	7
8. 1 目的と範囲	8
9. 1 目的と範囲	9
10. 1 目的と範囲	10
11. 1 目的と範囲	11
12. 1 目的と範囲	12
13. 1 目的と範囲	13
14. 1 目的と範囲	14
15. 1 目的と範囲	15
16. 1 目的と範囲	16
17. 1 目的と範囲	17
18. 1 目的と範囲	18
19. 1 目的と範囲	19
20. 1 目的と範囲	20
21. 1 目的と範囲	21
22. 1 目的と範囲	22
23. 1 目的と範囲	23
24. 1 目的と範囲	24
25. 1 目的と範囲	25
26. 1 目的と範囲	26
27. 1 目的と範囲	27
28. 1 目的と範囲	28
29. 1 目的と範囲	29
30. 1 目的と範囲	30
31. 1 目的と範囲	31
32. 1 目的と範囲	32
33. 1 目的と範囲	33
34. 1 目的と範囲	34
35. 1 目的と範囲	35
36. 1 目的と範囲	36
37. 1 目的と範囲	37
38. 1 目的と範囲	38
39. 1 目的と範囲	39
40. 1 目的と範囲	40
41. 1 目的と範囲	41
42. 1 目的と範囲	42
43. 1 目的と範囲	43
44. 1 目的と範囲	44
45. 1 目的と範囲	45
46. 1 目的と範囲	46
47. 1 目的と範囲	47
48. 1 目的と範囲	48
49. 1 目的と範囲	49
50. 1 目的と範囲	50
51. 1 目的と範囲	51
52. 1 目的と範囲	52
53. 1 目的と範囲	53
54. 1 目的と範囲	54
55. 1 目的と範囲	55
56. 1 目的と範囲	56
57. 1 目的と範囲	57
58. 1 目的と範囲	58
59. 1 目的と範囲	59
60. 1 目的と範囲	60
61. 1 目的と範囲	61
62. 1 目的と範囲	62
63. 1 目的と範囲	63
64. 1 目的と範囲	64
65. 1 目的と範囲	65
66. 1 目的と範囲	66
67. 1 目的と範囲	67
68. 1 目的と範囲	68
69. 1 目的と範囲	69
70. 1 目的と範囲	70
71. 1 目的と範囲	71
72. 1 目的と範囲	72
73. 1 目的と範囲	73
74. 1 目的と範囲	74
75. 1 目的と範囲	75
76. 1 目的と範囲	76
77. 1 目的と範囲	77
78. 1 目的と範囲	78
79. 1 目的と範囲	79
80. 1 目的と範囲	80
81. 1 目的と範囲	81
82. 1 目的と範囲	82
83. 1 目的と範囲	83
84. 1 目的と範囲	84
85. 1 目的と範囲	85
86. 1 目的と範囲	86
87. 1 目的と範囲	87
88. 1 目的と範囲	88
89. 1 目的と範囲	89
90. 1 目的と範囲	90
91. 1 目的と範囲	91
92. 1 目的と範囲	92
93. 1 目的と範囲	93
94. 1 目的と範囲	94
95. 1 目的と範囲	95
96. 1 目的と範囲	96
97. 1 目的と範囲	97
98. 1 目的と範囲	98
99. 1 目的と範囲	99
100. 1 目的と範囲	100
101. 1 目的と範囲	101
102. 1 目的と範囲	102
103. 1 目的と範囲	103
104. 1 目的と範囲	104
105. 1 目的と範囲	105
106. 1 目的と範囲	106
107. 1 目的と範囲	107
108. 1 目的と範囲	108
109. 1 目的と範囲	109
110. 1 目的と範囲	110
111. 1 目的と範囲	111
112. 1 目的と範囲	112
113. 1 目的と範囲	113
114. 1 目的と範囲	114
115. 1 目的と範囲	115
116. 1 目的と範囲	116
117. 1 目的と範囲	117
118. 1 目的と範囲	118
119. 1 目的と範囲	119
120. 1 目的と範囲	120
121. 1 目的と範囲	121
122. 1 目的と範囲	122
123. 1 目的と範囲	123
124. 1 目的と範囲	124
125. 1 目的と範囲	125
126. 1 目的と範囲	126
127. 1 目的と範囲	127
128. 1 目的と範囲	128
129. 1 目的と範囲	129
130. 1 目的と範囲	130
131. 1 目的と範囲	131
132. 1 目的と範囲	132
133. 1 目的と範囲	133
134. 1 目的と範囲	134
135. 1 目的と範囲	135
136. 1 目的と範囲	136
137. 1 目的と範囲	137
138. 1 目的と範囲	138
139. 1 目的と範囲	139
140. 1 目的と範囲	140
141. 1 目的と範囲	141
142. 1 目的と範囲	142
143. 1 目的と範囲	143
144. 1 目的と範囲	144
145. 1 目的と範囲	145
146. 1 目的と範囲	146
147. 1 目的と範囲	147
148. 1 目的と範囲	148
149. 1 目的と範囲	149
150. 1 目的と範囲	150
151. 1 目的と範囲	151
152. 1 目的と範囲	152
153. 1 目的と範囲	153
154. 1 目的と範囲	154
155. 1 目的と範囲	155
156. 1 目的と範囲	156
157. 1 目的と範囲	157
158. 1 目的と範囲	158
159. 1 目的と範囲	159
160. 1 目的と範囲	160
161. 1 目的と範囲	161
162. 1 目的と範囲	162
163. 1 目的と範囲	163
164. 1 目的と範囲	164
165. 1 目的と範囲	165
166. 1 目的と範囲	166
167. 1 目的と範囲	167
168. 1 目的と範囲	168
169. 1 目的と範囲	169
170. 1 目的と範囲	170
171. 1 目的と範囲	171
172. 1 目的と範囲	172
173. 1 目的と範囲	173
174. 1 目的と範囲	174
175. 1 目的と範囲	175
176. 1 目的と範囲	176
177. 1 目的と範囲	177
178. 1 目的と範囲	178
179. 1 目的と範囲	179
180. 1 目的と範囲	180
181. 1 目的と範囲	181
182. 1 目的と範囲	182
183. 1 目的と範囲	183
184. 1 目的と範囲	184
185. 1 目的と範囲	185
186. 1 目的と範囲	186
187. 1 目的と範囲	187
188. 1 目的と範囲	188
189. 1 目的と範囲	189
190. 1 目的と範囲	190
191. 1 目的と範囲	191
192. 1 目的と範囲	192
193. 1 目的と範囲	193
194. 1 目的と範囲	194
195. 1 目的と範囲	195
196. 1 目的と範囲	196
197. 1 目的と範囲	197
198. 1 目的と範囲	198
199. 1 目的と範囲	199
200. 1 目的と範囲	200
201. 1 目的と範囲	201
202. 1 目的と範囲	202
203. 1 目的と範囲	203
204. 1 目的と範囲	204
205. 1 目的と範囲	205
206. 1 目的と範囲	206
207. 1 目的と範囲	207
208. 1 目的と範囲	208
209. 1 目的と範囲	209
210. 1 目的と範囲	210
211. 1 目的と範囲	211
212. 1 目的と範囲	212
213. 1 目的と範囲	213
214. 1 目的と範囲	214
215. 1 目的と範囲	215
216. 1 目的と範囲	216
217. 1 目的と範囲	217
218. 1 目的と範囲	218
219. 1 目的と範囲	219
220. 1 目的と範囲	220
221. 1 目的と範囲	221
222. 1 目的と範囲	222
223. 1 目的と範囲	223
224. 1 目的と範囲	224
225. 1 目的と範囲	225
226. 1 目的と範囲	226
227. 1 目的と範囲	227
228. 1 目的と範囲	228
229. 1 目的と範囲	229
230. 1 目的と範囲	230
231. 1 目的と範囲	231
232. 1 目的と範囲	232
233. 1 目的と範囲	233
234. 1 目的と範囲	234
235. 1 目的と範囲	235
236. 1 目的と範囲	236
237. 1 目的と範囲	237
238. 1 目的と範囲	238
239. 1 目的と範囲	239
240. 1 目的と範囲	240
241. 1 目的と範囲	241
242. 1 目的と範囲	242
243. 1 目的と範囲	243
244. 1 目的と範囲	244
245. 1 目的と範囲	245
246. 1 目的と範囲	246
247. 1 目的と範囲	247
248. 1 目的と範囲	248
249. 1 目的と範囲	249
250. 1 目的と範囲	250
251. 1 目的と範囲	251
252. 1 目的と範囲	252
253. 1 目的と範囲	253
254. 1 目的と範囲	254
255. 1 目的と範囲	255
256. 1 目的と範囲	256
257. 1 目的と範囲	257
258. 1 目的と範囲	258
259. 1 目的と範囲	259
260. 1 目的と範囲	260
261. 1 目的と範囲	261
262. 1 目的と範囲	262
263. 1 目的と範囲	263
264. 1 目的と範囲	264
265. 1 目的と範囲	265
266. 1 目的と範囲	266
267. 1 目的と範囲	267
268. 1 目的と範囲	268
269. 1 目的と範囲	269
270. 1 目的と範囲	270
271. 1 目的と範囲	271
272. 1 目的と範囲	272
273. 1 目的と範囲	273
274. 1 目的と範囲	274
275. 1 目的と範囲	275
276. 1 目的と範囲	276
277. 1 目的と範囲	277
278. 1 目的と範囲	278
279. 1 目的と範囲	279
280. 1 目的と範囲	280
281. 1 目的と範囲	281
282. 1 目的と範囲	282
283. 1 目的と範囲	283
284. 1 目的と範囲	284
285. 1 目的と範囲	285
286. 1 目的と範囲	286
287. 1 目的と範囲	287
288. 1 目的と範囲	288
289. 1 目的と範囲	289
290. 1 目的と範囲	290
291. 1 目的と範囲	291
292. 1 目的と範囲	292
293. 1 目的と範囲	293
294. 1 目的と範囲	294
295. 1 目的と範囲	295
296. 1 目的と範囲	296
297. 1 目的と範囲	297
298. 1 目的と範囲	298
299. 1 目的と範囲	299
300. 1 目的と範囲	300
301. 1 目的と範囲	301
302. 1 目的と範囲	302
303. 1 目的と範囲	303
304. 1 目的と範囲	304
305. 1 目的と範囲	305
306. 1 目的と範囲	306
307. 1 目的と範囲	307
308. 1 目的と範囲	308
309. 1 目的と範囲	309
310. 1 目的と範囲	310
311. 1 目的と範囲	311
312. 1 目的と範囲	312
313. 1 目的と範囲	313
314. 1 目的と範囲	314
315. 1 目的と範囲	315
316. 1 目的と範囲	316
317. 1 目的と範囲	317
318. 1 目的と範囲	318
319. 1 目的と範囲	319
320. 1 目的と範囲	320
321. 1 目的と範囲	321
322. 1 目的と範囲	322
323. 1 目的と範囲	323
324. 1 目的と範囲	324
325. 1 目的と範囲	325
326. 1 目的と範囲	326
327. 1 目的と範囲	327
328. 1 目的と範囲	328
329. 1 目的と範囲	329
330. 1 目的と範囲	330
331. 1 目的と範囲	331
332. 1 目的と範囲	332
333. 1 目的と範囲	333
334. 1 目的と範囲	334
335. 1 目的と範囲	335
336. 1 目的と範囲	336
337. 1 目的と範囲	337
338. 1 目的と範囲	338
339. 1 目的と範囲	339
340. 1 目的と範囲	340
341. 1 目的と範囲	341
342. 1 目的と範囲	342
343. 1 目的と範囲	343
344. 1 目的と範囲	344
345. 1 目的と範囲	345
346. 1 目的と範囲	346
347. 1 目的と範囲	347
348. 1 目的と範囲	348
349. 1 目的と範囲	349
350. 1 目的と範囲	350
351. 1 目的と範囲	351
352. 1 目的と範囲	352
353. 1 目的と範囲	353
354. 1 目的と範囲	354
355. 1 目的と範囲	355
356. 1 目的と範囲	356
357. 1 目的と範囲	357
358. 1 目的と範囲	358
359. 1 目的と範囲	359
360. 1 目的と範囲	360
361. 1 目的と範囲	361
362. 1 目的と範囲	362
363. 1 目的と範囲	363
364. 1 目的と範囲	364
365. 1 目的と範囲	365
366. 1 目的と範囲	366
367. 1 目的と範囲	367
368. 1 目的と範囲	368
369. 1 目的と範囲	369
370. 1 目的と範囲	370
371. 1 目的と範囲	371
372. 1 目的と範囲	372
373. 1 目的と範囲	373
374. 1 目的と範囲	374
375. 1 目的と範囲	375
376. 1 目的と範囲	376
377. 1 目的と範囲	377
378. 1 目的と範囲	378
379. 1 目的と範囲	379
380. 1 目的と範囲	380
381. 1 目的と範囲	381
382. 1 目的と範囲	382
383. 1 目的と範囲	383
384. 1 目的と範囲	384
385. 1 目的と範囲	385
386. 1 目的と範囲	386
387. 1 目的と範囲	387
388. 1 目的と範囲	388
389. 1 目的と範囲	389
390. 1 目的と範囲	390
391. 1 目的と範囲	391
392. 1 目的と範囲	392
393. 1 目的と範囲	393
394. 1 目的と範囲	394
395. 1 目的と範囲	395
396. 1 目的と範囲	396
397. 1 目的と範囲	397
398. 1 目的と範囲	398
399. 1 目的と範囲	399
400. 1 目的と範囲	400
401. 1 目的と範囲	401
402. 1 目的と範囲	402
403. 1 目的と範囲	403
404. 1 目的と範囲	404
405. 1 目的と範囲	405
406. 1 目的と範囲	406
407. 1 目的と範囲	407
408. 1 目的と範囲	408
409. 1 目的と範囲	409
410. 1 目的と範囲	410
411. 1 目的と範囲	411
412. 1 目的と範囲	412
413. 1 目的と範囲	413
414. 1 目的と範囲	414
415. 1 目的と範囲	415
416. 1 目的と範囲	416
417. 1 目的と範囲	417
418. 1 目的と範囲	418
419. 1 目的と範囲	419
420. 1 目的と範囲	420
421. 1 目的と範囲	421
422. 1 目的と範囲	422
423. 1 目的と範囲	423
424. 1 目的と範囲	424
425. 1 目的と範囲	425
426. 1 目的と範囲	426
427. 1 目的と範囲	427
428. 1 目的と範囲	428
429. 1 目的と範囲	429
430. 1 目的と範囲	430
431. 1 目的と範囲	431
432. 1 目的と範囲</	

1. 生物多様性の保護の経緯.....	68
(1) 生物多様性に関する世界自然遺産に関する条約の締結.....	68
(2) 生物多様性条約の成立と意義.....	69
2. 環境の危機.....	70
(1) 環境危機の発生と原因.....	70
(2) ヨーロッパ自然保護の政策転換：生態環境の低下.....	71
(3) 生物多様性の低下：原因、生物多様性回復政策推進の必要性.....	72
(4) 自然環境再生の計画.....	73
3. 大気・気候変動と自然環境2014.....	76

◎ 参考文献.....

◎ 参考文献.....



れまで確認できなかったウダイスが出現するなどの成果が見られた。今後、スズタケの調査が進めば、ハマドリなどの生息の調査が期待される。

● 検査依頼料の設置

[illegible]

● 基本保護制度の実施

・コンピュータによる印刷物の複製を抑制するための技術的、法的対策が実施されて印刷物の複製行為の抑制がもたらされ、また複製は、例によって複製し方・複製量、また意図を中心に従来100部から大幅に減っており、トナリなどの複製をネット上の複製から保護する効果が確認された。なお、複製の全量抑制には複製前に必要とする許可証の取得を義務づけることと併行して、複製前許可制のみで一定の複製を抑制しており、これによって、まだ完全な意図で、一定額(約5,000円に相当した)1年度2年7月31日現在)。また、三重県教育委員会により、正作・真実店の三重県で、同時に複製品正作

[illegible]

テキストは安全管理、大台ヶ原における利用のルール、自然環境、歴史的背景、自然再生への取組などについて解説されている。

図 4-4-4 大台ヶ原登録ガイドテキスト(平成 29(2017)年、環境省・近畿地方環境事務所)

■課題

登録ガイド制度については今後の課題として、大台ヶ原の魅力や資源、自然再生に係る各種取組やその成果等を活用した質の高い体験の機会を提供するための体験型プログラムの実施や登録ガイド制度について自律的に機能できるよう、環境省が主導し関係機関との連携により、民間事業者とのツアー運営の仕組みづくりや、利用者への一層の周知等の取組の検討・実施を行うことが必要である。

西大台では携帯トイレブースは利用されているものの、東大台での携帯トイレブースの試行において利用率が低かったのは、東大台利用者は西大台利用者に比べると山行の経験が少ない者も多く、携帯トイレを使用することに慣れていないこともその一因と考えられることから、普及活動が必要である。

② 登山道・探勝歩道の維持管理

●評価

環境省職員、巡視員等による登山道・探勝歩道の状況把握を行っており、破損箇所・危険箇所の早期把握ができていることに加え、パークボランティアによる登山道の補修作業が行われており、危険箇所の修繕や木道階段先端部の塗分けによる視認性の向上等が実施されている。

苔探勝路については、近年、ササが繁茂したため、苔が衰退している。このため、R2 年度から、ササ刈りによる苔探勝路沿いの蘚苔類の再生試験を実施したところ蘚苔類は回復傾向にあり、今後さらに回復が進めば、より簡易的に大台ヶ原の自然を体験できる探勝歩道としての魅力向上に資するものと考えられる。

■課題

登山道の一部で荒廃や木道等施設の老朽化が進んでおり、大規模な改修が必要である。

4) 情報提供・発信の強化

情報提供・発信の強化【概要】

- ・体験プログラムについては、関連機関との協働等により実施しており、概ね好評を得ている。今後は、民間団体を含む様々な主体が実施している活動と連携していくことを視野に入れる必要がある。
- ・ビジターセンターや SNS 等を通じた情報発信は概ね好評であり、利用推進にも貢献しているが、常設展示や環境省ホームページの情報は古くなっているため、自然再生事業の成果を発信するなどの更新が必要である。

① 自然解説・自然観察会・自然体験学習プログラム等情報提供・情報発信の充実

●評価

環境省による自然体験学習プログラム（三重森林管理署と協同で実施する「大台ヶ原・大杉谷森林再生応援団」）や、パークボランティアやアクティブレングジャーによる自然観察会を実施しており、また、大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパークと連携して教員等を対象としたエクスカッションを実施している。環境省以外の主体（上北山村、パークボランティアなど）による自然体験学習プログラムも定期的に行われており、上北山村地域活性化イベント実行委員会による大台ヶ原ガイドウォークなど、概ね高評価を得ている。これらの取組はこれからも引き続き実施していくことが重要と考えられる（写真 4-4-2）。

西大台利用調整地区の入山者への事前レクチャーについては、概ね満足というアンケート結果を得ている。ビジターセンターでは、常設展示の他に、窓口付近に設置したホワイトボードで、開花情報、天候状況、ツキノワグマの目撃情報などの情報提供を行っており、利用者からの評価は概ね好評である。FaceBook や Instagram 等の SNS やホームページによる自然情報の発信や、イベントへの参加募集などは、大台ヶ原を訪れたことがない人への利用推進にも貢献している。

	
<p>ボランティアイベント(森林再生応援団) による稚樹保護柵内での坪刈り作業</p>	<p>大台ヶ原ガイドウォーク</p>
	
<p>ユネスコエコパークを活かした地域教育を 考えるエクスカーション</p>	<p>パークボランティアによる開山時清掃活動</p>

写真 4-4-2 多様な自然体験プログラム等

■課題

自然体験学習プログラム・ボランティア活動等を充実・継続し、自然情報等の情報発信を充実させていくために、民間団体を含む様々な主体が実施している活動と連携していくことが重要である。また、ビジターセンターの常設展示や環境省 HP の情報が古くなっているため更新が必要である。自然再生事業の成果については、関連資料をホームページに掲載するなど情報公開の取組を進める必要がある。

西大台利用調整地区の入山者へのアンケートでは事前のオンライン講習導入等の要望があり、利用者が利用しやすい整備を引き続き検討する。

自然再生の取組を次世代に継承するために、環境教育の推進や自然環境保全体験機会の提供等を通じて、義務教育学校や博物館等を含めた地域の様々な機関や、広域的な大学などの教育・研究機関等との連携により人材の育成を図ることが必要である。